

公益社団法人 全国学校栄養士協議会会長賞

『大好きな給食の時間』

埼玉県川口市立原町小学校 五年 久本 千尋

ぼくは給食が大好きです。給食を沢山食べて、こんなに大きくなりました。幼稚園のころからずっと手作りの給食を食べてきました。今年で給食9年目の給食のプロです。食べる事はもちろん好きですが、給食が出来てくる、学校中が給食のあつたかいにおいでいっぱいになる時間が一番好きです。

5年生の初めに委員会決めがありました。ぼくは迷わず、給食委員に立こうほしました。大好きな給食のお手伝いが出来て、毎週お当番の月曜日を楽しみにしています。給食当番になると、1年生の給食のお手伝いに行きます。めんのふくろを開けてあげたり、牛乳パックを開いてあげたりしています。一生けん命美味しそうに給食を食べている姿を見るのも、とても楽しいです。

給食室前で食器の片付けも手伝います。元気な声で「ごちそうさまでした。美味しかったです。」と、言われると、ぼくが作った給食ではないのに、なぜかうれしい気持ちになります。給食室の中に居る、給食を作っている調理員さんも、この声を聞いてきつとうれしい気持ちになっていると思います。ぼくも食器を返す時は、おくに居る調理員さんに届くように、大きな声で「ごちそうさまを言うようにしています。」

先日、家庭科の調理実習で初めて料理を作りました。小さく野菜を切る事、分量を正確に測る事がとても大変でした。また、食べるのはすぐなのに、作るのにはずごく時間がかかる事、沢山の調理器具の準備と片づけなど料理の大変さも知りました。

調理実習の後、料理に興味を持ち、一番大好きなメニューのグラタンの作り方を調べてみました。材料を切る、炒める、まぜる、焼くと、沢山の手順から出来ていました。苦手なたまねぎが入っていた事にもビックリしました。

ぼくはサラダを作るだけでも大変だったのに、調理員さん達は何百人分ものグラタンを、どうやって作っているんだろうと思いました。

給食室で一日料理のお手伝いしてみたいです。

料理は、ぼく達の口に入るまでに、材料を作っている人、運んでくれる人、料理をする人など沢山の人の世話になっています。今まで苦手な物はへらしたり、残したりしていました。でも、自分で料理をしてみても残さないようにしようと思うようになりました。もし、ぼくが作った料理が残されてしまったら悲しいと思うからです。

ぼくが給食を食べられるのは、あと一年半です。毎日感謝しながら一食一食を大切に味わいたいです。

そして、来年も給食委員になって、給食の大切さ、楽しさをみんなに伝えていきたいです。